

宇部市多世代ふれあいセンターのあり方に係る今後の方向性について ～多世代ふれあいセンター個別施設計画～

多世代ふれあいセンターは、平成 7 年度から高齢者を対象とした福祉の増進と生活の向上を目的とした公共施設として共用を開始し、平成 29 年 4 月 1 日より多世代交流の拠点として機能拡充と共に名称の変更（旧シルバーふれあいセンター）を行った。

◆宇部市多世代ふれあいセンターの概要

子どもから高齢者まで障害の有無に関わらず交流できる地域共生の拠点として、子育て世代や高齢者が利用。また、発達障害児者の相談窓口の設置など効果的な活用が図られており、今後、共生社会を推進するために必要な機能である。

1. 施設名 宇部市多世代ふれあいセンター
2. 所在地 宇部市琴芝町二丁目 4 番 25 号
3. 構造及び面積 鉄筋コンクリート造 地下 1 階付 5 階建
延床面積 5681.76 m²
4. 建築年月日 平成 7 年 3 月 14 日
5. 築年数 29 年（令和 6 年 4 月 1 日時点）
6. 設置の目的 高齢者を始めとした市民の福祉の増進と生活の向上及び多世代の交流を図るため
7. 事業概要 ホールや大小の講座室の貸し出し、及び各種事業所の事務所利用

◆既存建物の機能及び耐震性能等について

1. 駐車場 103 台（身体障害者用駐車場 6 台）
2. バリアフリー対応 出入口、エレベーター、スロープ、身体障害者用トイレ（各階）
3. 大規模修繕 空調設備更新工事、視覚障害者対応設備設置工事
4. 耐震性能 有：昭和 57 年以降の建築物（新耐震基準）であるため耐震化不要
5. 防災施設 非該当

◆宇部市総合福祉会館の廃止（閉館）について

総合福祉会館は、市民福祉の増進のため、総合的な便宜を提供するとともに、諸団体の活動拠点とし、市民生活向上の場として、広く市民の利活用を目的に設置された。しかし、耐震性がなく空調機器も故障したため、隣接の多世代ふれあいセンターに機能移転することを前提に、令和 7 年 3 月 31 日をもって廃止（閉館）することとなった。

◆既存建物の取扱い

多世代ふれあいセンターは、令和 2 年度に策定した個別施設計画において、「当面、建物は小規模修繕により現状を維持し、築 45 年経過時に建物の劣化状況等を総合的に判断し長寿命化改修を実施する」としていたが、隣接する総合福祉会館の機能を当該施設へ集約すること、外壁の老朽化が酷いこと等を踏まえ、大規模な修繕等により建物を延命化させる必要がある。

よって、建物の方向性を「現状維持」から「長寿命化改修」へ改める。

◆今後の方向性

平成 7 年に建設された耐震性を有する施設であるが、老朽化により外壁タイルや屋上部分の損傷が酷く、雨漏りや浸水により建物の劣化が促進されている状況である。また、環境悪化により利用者の健康への二次被害も懸念される。

したがって、外壁改修と屋上修繕を行うことで建物の長寿命化を図り、福祉の拠点として当該施設を長期的に利用していく。

◆概算事業費

・アスベスト事前調査費	2,145 千円
・アスベスト分析調査	4,587 千円
・設計費	5,500 千円
・工事費	200,500 千円

◆スケジュール（予定）

R 6 年度					R 7 年度	R 8 年度
9 月	10 月	11 月	12 月	1～3 月		
アスベスト調査	工事設計				入札・契約	外壁改修工事 屋上修繕工事
アスベスト分析調査（屋外）		アスベスト分析調査（屋内）				